

八潮市社会福祉協議会では、地域社会からの孤立を防ぎ、温かい人と人との交流と活躍の場として「居場所づくり」をテーマに、居場所の立ち上げ支援をする実践者の養成をするため標記講座を実施しました。

【実施日時】 10月5日・12日・19日・26日、11月2日 いずれも木曜日 10:00～12:00 全5回  
ほか10月23日(月)午前、26日(木)午後現場見学  
【場 所】 八潮市身体障害者福祉センターやすらぎ、さかえーる(草加市)【参加者】 16人  
【講 師】 NPO法人れんげ舎 代表理事 長田 英史 (おさだ てるちか) 氏  
【内 容】

第1回目 居場所づくりとは?場づくりの基本を学ぼう

まず、「場所」と「場」のちがいを確認し、自分の内側にある思いを大切にしたい場づくりとはどういうことかを説明いただきました。場を運営するには、準備と振り返りの場が必要なこと、無理をせず、等身大で運営すること、主催者が楽しめる活動をする大切さなどを話していただきました。



第2回目 ゼロから継続的な場をつくるまでの3ステップ

自分で「やりたい」と思っているだけの状態から、①企画→ニュースレターなどの通信物発行 ②単発イベントの実施 ③継続的な場の実施という3ステップについて説明いただきました。その後、「あなたがイベントを企画するとしたら」というテーマで参加者全員が考え、発表しました。



第3回目 安心できる場をつくるには?組織運営の基本

場づくりや場の成り立ちについて復習した後、組織として活動するためには組織として意思決定することが必要との話がありました。そのために会議があり、会議は「意見を言う場」でなく「意思決定する場」であること、提案→質問→意見→修正→承認といったプロセスが大事との説明がありました。



第4回目 実践者から学ぼう!プランづくりに向けて

発表者 ・和耕支部 ふれあいサロン 山田貞子 (やまだていこ) 氏  
・八潮市高齢者ふれあいの家 ふれんど 郡司伶子 (ぐんじれいこ) 氏  
・子ども食堂 ほっぺ 木村和子 (きむらかずこ) 氏  
場を運営されている方から、活動の内容や、やりがい等について発表いただき、活動の工夫、前向きな姿勢等を学びました。



課外活動 さかえーる(草加市)の現場見学

民家を活用した、住民の交流、情報交換の場である草加市にある「さかえーる」へ行きました。毎週月曜日に活動している「おしゃべり倶楽部」 木曜日に活動している「みんなの保健室陽だまり」の活動見学、運営者からの説明を聞き居場所の実情についての理解を深めました。



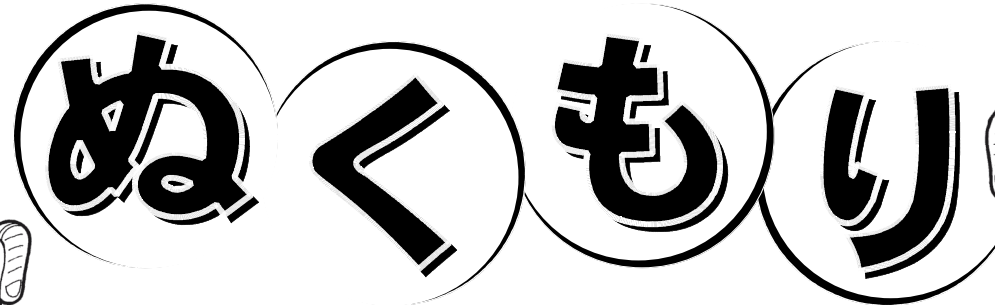
第5回目 私の「居場所づくりプラン」発表会

参加者全員が、場づくりのプランを発表しました。参加者一人ひとりが発表者にむけてふせんにメッセージを記入し、渡しました。参加者全員がメッセージを受け取り、温かな気持ちで講座を終えました。



5回の講義と現場見学というボリュームのある講座でしたが、参加者それぞれがさまざまな気づき、今後の活動への意欲を得ることができました。お忙しい中ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

市民活動・ボランティア情報紙



ボランティア スマイルリレー

ボランティアでつながる地域の“輪”

やさお市民まつり  
ふれあい広場でのボランティア

私は、やさお市民まつりのふれあい広場で、妊婦疑似体験や高齢者疑似体験などのお手伝いをするため、ボランティアとして参加しました。今回ボランティアに参加した理由は、いろいろな人が市民まつりに来るなかで人手が足りなかったら大変だなと思ったからです。



八幡中学校 1年

とうやま まさき  
塔山 諒樹 さん

ボランティアとして、妊婦疑似体験や、高齢者疑似体験を体験する人の足にオモリやひざを動かしにくくするサポーターをつけたり、目を見えづらい状態にするゴーグルをつけたりするお手伝いをしました。体験した人たちは、体の動かしにくさや目の見えづらさがわかったと思います。

ボランティアでお手伝いをして、とても楽しかったです。準備や運営の大変さなども知ることができました。

また参加してお手伝いをしたいです。

【編集・発行】  
社会福祉法人 八潮市社会福祉協議会  
八潮市ボランティアセンター

〒340-0802  
八潮市大字鶴ヶ曾根414-1  
八潮市身体障害者福祉センターやすらぎ内

TEL 048-995-3636  
FAX 048-995-5287  
ホームページ  
<https://yashio-shakyo.jp/>



「ぬくもり」は、市内公共施設、小・中・高等学校などの協力により、各施設の窓口に設置しています。